

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評価日 平成28年3月22日

団体名	佐久サムライ実行委員会		
事業名	「佐久サムライ和を結ぶ！」～サムライ体験と映画制作～		
対象経費	929,246円	支援金額	464,000円

事業の目的・内容	<p>目的 佐久サムライ実行委員会は平成25年度、元気づくり支援金の補助を戴き、映画「佐久サムライいじめを斬る！」を制作した。一年間いじめと向き合い、「いじめ」を無くすためには「しつけ」「道徳」が大変重要であるとわかった。そこで子育て経験者である年配者と交流し、「和 문화」を体験することで、「しつけ」について考える機会を作ろうと考えた。企画は①温故知新・大人も子供も「サムライ体験」②映画「佐久サムライ和を結ぶ！」制作と分けて実施する。</p>
	<p>内容 ①温故知新・大人も子供も「サムライ体験」 親子で日本文化の良さを体験する楽しい講座(一人での参加可能、一日だけの参加も可能)体験日7月25日～7月31日の内の5日間。全日程着物(浴衣)を着て体験に臨む。会場は寺院を使用。 ②映画「佐久サムライ和を結ぶ！」制作 「サムライ体験」同様に100名程度募集を行う(出演・スタッフ・見守り)①体験講座から出てきた子育て問題等をもとに脚本を作る、9月演技稽古～撮影、10月編集、11月上映会を開催、「しつけ」について考える時間を共有。12月再編集、H28年1月DVD化して東信地区の学校・施設へ配布する。</p>

事業の活動実績	<p>①「サムライ体験」 1日目(7月25日)着付けを学ぼう!佐久市中込・小林寺(参加者65名) 2日目(7月26日)殺陣(チャンバラ)に挑戦しよう!佐久創造館(107名) 3日目(7月29日)寺子屋体験・論語素読に挑戦しよう!佐久市鳴瀬・桃源院(48名) 4日目(7月30日)食事の作法を身につける!小諸市八満・正眼院(48名) 5日目(7月31日)佐久市田口・蕃松院、お寺で怪談～修了式(54名) ②「映画制作」8月1日一般公募開始9月12日スタッフ会議9月19日演技指導9月20日ロケハン確認9月21日撮影1日目9月22日撮影2日目9月23日撮影3日目10月12日(出演者数101名)静止画撮影(ケーブルテレビスタジオ)10月中編集作業11月3日佐久平交流センターホール・上映会12月中配布用編集平成28年1月DVDを東信地区の教育委員会から各学校へ配布、高等学校へは郵送</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>①「サムライ体験」 親子・家族で和文化を体験し、再発見した。学習した和 문화(着付け、あいさつ、食事所作など)興味を持ってもらえた。形を整えることを重視する「和 문화」を身につけることで、「心」も整うこと。各家庭にて「和 문화」体験で身に付けた事の実践を促す。(参加者の声)5日間着付け(たたむ事まで)を学んだので、覚えることが出来た。違う帯結びの研究をしてみた。盆踊り・お祭りに浴衣を着ていきたい。リボン結びが出来ない理由がわかった。「しつけ」は家族だけではなく、地域で行う事が大切である。今さら聞けない所作を確認できた。親子でコミュニケーションがとれた。サムライになるためには「優しい心」が必要だとわかった。たのしかった。 ②「映画制作」 8月参加者募集を開始。サムライ体験者からも10名の希望者が出た。映画の撮影では、朝6時集合であったが、時間を守り臨むことができた。不慣れなセリフや演技に際し、出演者どうしが励まし合い、協力し合って行えた。裏方の手伝いを行い、撮影現場を体験できた。脚本上にある日本の行事や習慣から、和文化を知り、疑似体験した。考える機会となった。過密な予定ではあったが、怪我なく、不平不満なく、段取り良く進められた。協調性・積極性を学んだ。3日間という短い期間ではあったが、連絡先を教え合ったりして、今後も交流していく。ものづくりの面白さを知った。撮影本番の緊張を体験し、「あきらめずに、やる」「やればできる」ことが、自信となった。今後はその自信を応用して欲しい。上映会では約250名の動員。今年度のテーマ【しつけ】【道徳】とし、企画の説明をする、「和 문화」探索・再発見・体験することで、興味付けし、【しつけ】【道徳】の大切さを表現した。観覧者と共に、【しつけ】【道徳】は地域で関わることが、大切であること。大人が手本であることを確認し合った。H28.1月中、DVD化した「佐久サムライ和を結ぶ！」を東信地区の小・中・高等学校、施設へ配布した。クラス・学年で観賞し、コミュニケーションをとる機会にしてほしい。</p>
----------	---

自己評価	<p>事業は申請どおり実施できた</p> <p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p> <p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p> <p>① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	<p>その他、評価すべき点等</p> <p>見守り隊ボランティアをはじめ、関わる人が積極的に参加してくれた。「サムライ体験」では予想以上の申し込み、参加者があった。貸出用の浴衣、配布・回収が速やかであった。紛失はなかった。全体を通して忘れ物、紛失物なかった。「あいさつ」「声かけ」が常に行われて、非常に良かった。これが作用して、まとまりに繋がった。【しつけ】【道徳】をテーマにして固いイメージだったが、「和 문화」体験を通して、生活の中にその気付きがあること。すぐに実行・実践できること。大人が手本であること。楽しく学べた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>好評だった「サムライ体験」を次年度も実施する。映画「佐久サムライ和を結ぶ！」上映会と子育て講座を組み合わせて、各所で開催していく。</p>
---------	--